

幸畑団地地区まちづくり計画



キャッチフレーズ
『シビックプライド&アクティビティ～郷土愛と学び 住みやすいまち 幸畑ヒルズ～』

〔優先度〕
○ すぐに取組む ○ 計画期間内(5年間)の実施を目指す
△ 計画期間内(5年間)に方向性を定める
□ ワーキンググループまたはプロジェクトチームをつくり検討する

【計画の柱①】人と人との交流事業

事業① 幸畑ヒルズキッズクラブ ☆ワーキンググループ ①幸畑ヒルズ”きっすな”まつりの開催 ・クラフト制作のワークショップ開催 ・ミニ四駆(電池駆動の模型)の制作とコース走行体験 ・体験型ゲームコーナーの開催 ②使えるものを使いたい人への取り組み ・子ども服のおさがり会や子育て用品のフリーマーケット ③お仕事体験会 ・様々な業種のお仕事体験会	優先度 ◎ ◎ ◎
事業② 幸畑ヒルズウォーク ☆ワーキンググループ ①短命県返上に向けた健康ウォーク ・傾斜の多い地域特性を利用したウォーキング ②リアル雪中行軍イベントの開催 ・スノーシューやスキーで雪道を散策するイベント ③子どもたちの見守り活動 ・横断歩道の見守りや通学路の安全確認	優先度 ○ ◎ ◎
事業③ 夏休みラジオ体操会 ☆ワーキンググループ ①小学校夏休みラジオ体操会 ・小学校夏休み期間中の早朝ラジオ体操会	優先度 ◎
事業④ 他地域団体交流会 ☆ワーキンググループ ①地域課題情報交換会 ・幸畑(松元、阿部野、唐崎、谷脇)地区との交流会 ・大矢沢地区、横内地区、四ツ石地区、野尻地区との交流会 ・八甲田交番との情報交換会 ②学校情報交換会 ・幸畑小学校ならびに関係団体との情報交換会 ・横内小学校ならびに関係団体との情報交換会 ・横内中学校ならびに関係団体との情報交換会 ・青森大学ならびに関係団体との情報交換会	優先度 ○ ○
事業⑤ 幸畑ヒルズねふた ☆ワーキンググループ ①幸畑団地地区のねふた運行 ・青森市内ねふた団体関係者のご協力での運行 ・手持ちねふた(金魚ねふた)の制作体験 ②ねふた小屋の設営 ・地域住民によるねふたの制作活動 ・ねふたの制作および紙貼りの体験 ③他地域ねふたとの連携 ・他地域ねふたへの参加協力	優先度 ◎ ◎ ◎
事業⑥ 幸畑ヒルズ文化祭 ☆ワーキンググループ ①作品展示 ・地域小学生による夏休み作品の展示 ・地域住民による制作作品の展示	優先度 ◎
事業⑦ 幸畑ヒルズクリスマス会 ☆ワーキンググループ ①地域住民で楽しむ交流会 ・クリスマスリースの制作体験 ・ゲームやビンゴ大会の開催	優先度 ◎
事業⑧ 幸畑ヒルズ小春まつり ☆ワーキンググループ ①地域住民で楽しむ交流会 ・青森大学中庭でのスノースロープ遊び ・凧揚げ体験	優先度 ◎

【計画の柱②】地域で学べる事業

事業① デジタルワークショップ ☆ワーキンググループ ①スマートフォンの利活用講座 ・手持ちのスマートフォンを使った勉強会 ②ドローン操作体験会 ・トイドローン(免許の要らないドローン)の操作体験 ・ドローンについての勉強会	優先度 ◎ □
事業② 地域防災ワークショップ ☆ワーキンググループ ①NPO法人青森県防災士会との共催 ・AEDの使い方や心肺蘇生の仕方を学ぶ救急救命講習会 ・自助を想定した防災グッズの展示会 ・避難場所の現地確認と想定される災害の情報共有 ②地域防災ゲームイベントの開催 ・謎解きをしながら防災を学べるイベントの開催	優先度 □ ◎
事業③ 日常生活お役立ち講座 ☆ワーキンググループ ①クレジットカードや電子決済を学ぶ講座 ②美味しいコーヒーの淹れ方講座 ③お部屋の片づけ収納講座 ④DIY体験講座 ⑤車やバイクの簡単メンテナンス講座 ⑥髪や肌のお手入れ講座 ⑦日本酒の楽しみ方講座	優先度 ◎ ○ ○ ○ △ △ △



【計画の柱③】幸畑ヒルズの新たな試み事業

事業① 幸畑ヒルズ雪室実験 ロプロジェクトチーム ①雪室を使った長期保存法の研究 ・りんごや長芋、日本酒などの熟成度合いを研究	優先度 ◎
事業② カシスの栽培研究 ロプロジェクトチーム ①青森大学敷地内にあるカシスの栽培 ・天候や肥料の度合いでの実の付き具合を研究	優先度 ◎
事業① 幸畑ヒルズクリーンプロジェクト ロプロジェクトチーム ①幸畑団地地区のゴミ拾い活動 ・幸畑ヒルズピカピカ大作戦イベントの開催 ②幸畑中央公園の清掃および整備 ・枯葉収集、ゴミ拾い、ベンチや遊具の補修を検討	優先度 ◎ ○
事業② 幸畑ヒルズ除雪隊 ロプロジェクトチーム ①バス停「幸畑団地」周辺歩道の除雪 ・冬期間の歩行者空間確保	優先度 ◎



◆幸畑団地地区まちづくり計画の概要◆

〔目的〕 幸畑団地地区のイメージアップを図り、今住んでいる住民にも、新しく転居してくる人にも、安心して定住できるまちづくりを進めるために策定する。

〔期間〕 令和6年(2024)度から令和10年(2028)度の5年間

〔区域〕 南部第五区連合町会(幸畑団地連合町会) 区域
※ 幸畑一丁目～五丁目

〔主体〕 幸畑団地地区まちづくり協議会

〔方法〕 地域住民への聞き取りやアンケートで提案された意見をもとに運営委員会において集約しまとめたもの。

〔意義〕 地域住民のみならず、地域にある大学や企業、またこの地域を愛する方々の協議に基づいた計画を作成・実行することで、より心地よい幸畑団地地区に発展していくことを望む。